

## ◎行政報告について

○議長（山本浩平君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許可いたします。

戸田町長。

〔町長 戸田安彦君登壇〕

○町長（戸田安彦君） 平成25年白老町議会定例会12月会議の再開に当たり行政報告を申し上げます。

初めに、白老町総合防災訓練についてであります。10月29日、大規模な地震と津波を想定した総合防災訓練を実施いたしました。今回の訓練は、平成25年度北海道防災総合訓練の胆振管内のモデル町として、国、北海道を初め、陸上自衛隊第7師団、白老駐屯地、苫小牧警察署白老交番、伊達赤十字病院、白老町消防団など多くの防災関係機関と連携して、午前9時に青森県東方沖を震源とするマグニチュード8を超える巨大地震が発生し、大津波警報が発表されたという想定で、警報等情報伝達、住民等避難、救出救助、医療救護、情報収集、町職員初動、災害対策本部運営の7項目の訓練を実施したところであります。訓練には、各町内会、事業所を初め、町内全ての小中学校、高等学校にも協力をいただき、本年8月に作成した白老町津波避難計画に基づいた避難行動や町職員の初動対応などが実践され、昨年度の津波避難訓練の参加者数を上回る約3,700人の参加がありました。今後は、今回の訓練での課題等について必要な検証を行うとともに、災害に対する町民の意識高揚や関係機関との連携を図りながら、防災・減災対策を進めてまいりたいと考えております。

次に、川沿ソーラーファームの竣工についてであります。本施設は11月1日より稼働しており、本町で最初の大規模太陽光発電所となります。事業主体は日本電設工業株式会社で、総工費は約3億4,000万円、敷地面積は約2万5,700平方メートル、発電出力は約1,250キロワットで一般家庭357世帯分の消費電力量に相当します。事業期間は20年間の予定で、全て北電に売電するものであります。また、本施設にはソーラーパネルを一望できる見学台が設置されたほか、役場庁舎内には発電状況や二酸化炭素の削減量を表示するモニターが設置され、環境に優しい安定したエネルギー供給や自然エネルギーの学習の場として利用されることを期待しております。

次に、白老港第3商港区供用開始についてであります。議員各位にもご出席いただき、11月2日に北海道開発局室蘭開発建設部、白老町の主催により、第3商港区水深11メートル岸壁において港湾及び地元関係者など約100名にご出席いただき記念式典を挙行了しました。供用開始により町内外企業の大幅な輸送コスト削減が図られ、第1、第2商港区の狭隘が解消されるなどさまざまなニーズに対応できるようになり、地域産業や地域経済の活性化への大きな期待が寄せられております。道内物流拠点としての充実に加え、地震、噴火等の大きな災害時に貢献できる、機能的で利用しやすい港湾にしたいと考えております。

次に、民族共生の象徴となる空間整備による白老町活性化推進会議の設立についてであります。民族共生の象徴となる空間整備が白老町に決定して以来要望してまいりました事業推進の

ロードマップが、9月11日にアイヌ政策推進会議で発表され、平成32年の東京オリンピック開催前に開設・公開されることとなりました。本町といたしましては、国立施設の完成に向けて、アイヌ文化の理解・普及を前提として、教育・学習・人材育成などの推進や町活性化に向けた周辺整備、商業や観光客の拡大、PR活動強化の検討を行い、関係団体の協力によるオール白老としての取り組みを推進することを目的に、11月22日に町内23団体によって組織する民族共生の象徴となる空間整備による白老町活性化推進会議を設立しました。今後、推進会議において推進構想及び推進プランの策定に取り組み、官民それぞれの優位性を発揮しながら、国立施設の整備を起爆剤として、全町が一体となった活動を展開して活性化を目指してまいります。

なお、本12月会議には、議案9件、諮問1件を提案申し上げておりますので、よろしくご審議賜りたいと存じます。

○議長（山本浩平君） 行政報告が終了いたしました。

次の日程に入ります前にお諮りいたします。

議案の内容等により先議あるいは日程の変更等をあらかじめ議長に一任していただきたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） ご異議なしと認めます。

それでは、そのように取り扱いをさせていただきます。

---